

相模原市長 小川勇夫 殿
相模原市職員厚生会 加山俊夫会長 殿

2006年3月24日

さがみはら市民オンブズマン
代表幹事 中野直樹

申入書（2回目）

本年1月31日付ご回答ありがとうございます。それによりますと、いくつかの見直しの措置をお考えのようですので、関連質問をさせていただき、かつ改めて新たな申し入れをいたしますので、よろしく願いいたします。

- 1 「職員厚生会事業検討委員会」が設置され、事業のあり方を検討中とのことですが、委員会の構成メンバーおよび検討結果を発表できる時期を教えてください。
- 2 プロ野球などのシーズンシートについて縮小を検討中とのことですが、どの程度の縮小になりますのか大変関心があります。当オンブズマンは、現在の社会状況に鑑みて最終的には廃止の方向で検討すべきと考えますが、いかがでしょうか。
- 3 慶弔費における「退職慰労金」は、50万円以下は非課税という制度により非課税扱いとなります。本来的な退職金に付加すれば課税されるものが、厚生会慶弔費を介すると無税になるというのは「便法」と感じざるをえません。「隠れ退職金」との批判も的はずれではないように考えます。

ご回答では、この退職慰労金は「会費収入を充当している」とされています。しかし、会費収入と市からの補助金と同じ「財布」に入ってくるのに（決算書を見ても何の区別もない）この課目になると「会費収入を充当している」というのはあまりにご都合主義の解釈といわざるをえません。

また、仮にご回答どおり、「会費」を「退職慰労金」名目で本人に返還するとするならば、結局は、その金額に対応する交付金額を獲得するための「見せ金」となるのではないのでしょうか。

ご回答では、「平成18年度以降平均20%の削減をはかる」とされていますが、さらに大幅な削減を求めます。

なお、ご回答には平成18年度からは市交付金を充当する事業とその充当割合を定めるとありますが、その詳細を具体的に明らかにしていただきたいと思っております。